

似ているようで 全然違う。

非認知能力の一つであり未来を生き抜く力として重視されている「リーダーシップ」。

ところが、そこで語られる「リーダーシップ」像は、旧来からイメージされるものとは、

役割やスキルに大きな違いが出てきています。

多様性の時代の中でチームをビルドアップできるリーダーシップとは、どんなスキルなのでしょうか。



わたしにもある“みんなを動かす力”

教育用!

**リーダーシップ
ゲーム**

リーダーシップって何だろう？

「リーダー」と「リーダーシップ」の違いは何でしょう？ チームやプロジェクトが目標達成するために責任を負うポジションが「リーダー」であるのに対し、目標達成のために発揮される様々な能力や行動が「リーダーシップ」。圧倒的な統率力やカリスマ性ではなく、誰かをサポートすることもリーダーシップの一つで、誰でも発揮できるのです。

多様な時代の リーダーシップとは。

シーンやシチュエーションに応じて一人ひとりが適切にリーダーシップを発揮するためには、メンバー間の信頼関係が何より必要です。様々な背景や信条を持つ多様なメンバーたちの個性や能力を見極め尊重する場づくりをボードゲームを通じて身につけましょう。





シーンに応じたリーダーシップで、チームの力を最大化しよう。

リーダーシップを発揮するためには、信頼に基づくメンバー間の対等性が大切になります。

チームメンバー全員が『リーダーのときに、どう伝えればメンバーが動きやすいか』

『メンバーのときには、どう動けばチームが助かるか』と

個々が状況に応じて最適な行動を考えられるようになる、気づきや学びの機会がこのゲームでは設計されています。

お互いの状況を理解し、支え合いながら目標を達成しましょう。

『リーダーシップゲーム』で得られる成果

1 リーダーシップを理解することで 誰もが発揮できることを経験

「リーダー」と「リーダーシップ」の違いを理解し、「リーダーシップ」は誰にでも発揮できることを経験します。

2 自分の意見が全員と同じではないと知ること 先入観に縛られない視点を得る

みんなの意見に耳を傾け、共感できるようになることで、先入観にとらわれない、新たな視点に気づけるようになります。

3 役割の重さや緊張感から自由になり 新たな“責任観”に基づく信頼関係が生まれる

リーダーがあらゆる責務を引き受けるのではなく、メンバー一人ひとりがお互いの声を大切にしながら、全員が納得し協力し合って前進できる場を創ります。



他に授業用スライドがセットになっています。

多様な時代の、多様なリーダーシップ サーヴァントリーダーシップ

「サーヴァントリーダーシップ」は、多様なメンバーによる組織運営のための信頼関係構築を重視しており、時代にマッチするスタイルとしてビジネスシーンで注目を集めています。チームづくりに必要とされる10の能力が定義されており、一人ひとりが状況に応じて自身にできる役割を理解・共有しやすいのも特長です。

- 傾聴 ……メンバーの意見や考えを聞き、理解しようとする
- 概念化 ……目標達成に向けて長期的な視点で戦略を立てられる
- 共感性 ……メンバーの立場に立って、感情や経験を理解
- 先見力 ……過去の教訓や現在の状況から将来を予測する
- 癒し ……全員の心身の状態に配慮し、健全な状態を支援
- 執事役 ……メンバーの価値や可能性を信じ、引き出す役割
- 気づき ……メンバーの価値や可能性を信じ、引き出す役割
- 成長 ……メンバーの成長と自己実現を積極的に支援
- 説得 ……同意と納得を得られるように丁寧に働きかける
- コミュニティ ……互いに協力し合える組織や文化を構築できる

『リーダーシップゲーム』では、様々な形のリーダーシップを体験することで、周りを引っ張るだけがリーダーではないことを理解します。

製造・販売元

子ども未来キャリア

株式会社イー・ラーニング研究所

〒564-0063 大阪府吹田市江坂町1-23-38 F&Mビル6F

TEL:06-6339-4177 FAX:06-6339-4180

子ども未来キャリア



販売代理店

